

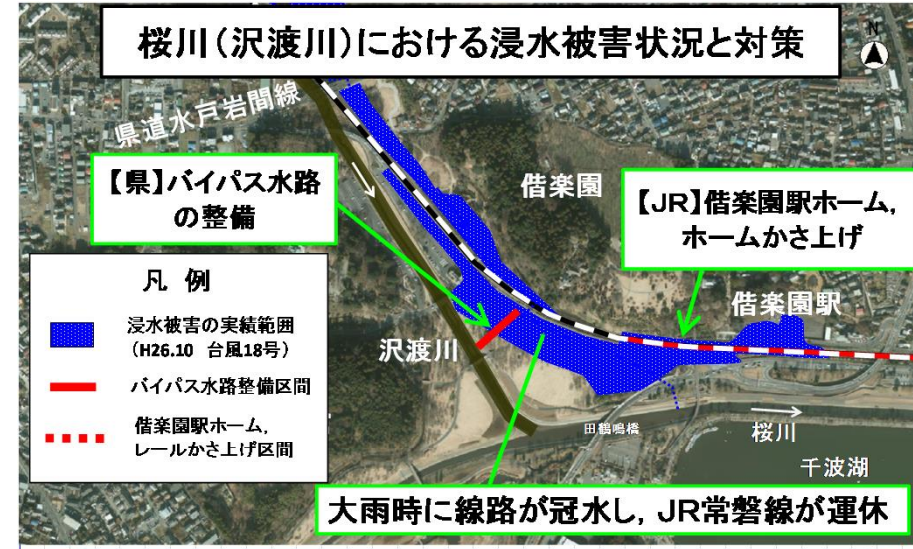
関係機関が連携し借楽園駅周辺の浸水被害を軽減 — 沢渡川における総合治水対策事業 —

【課題】

- 大雨が降ると、借楽園駅周辺では常磐線のレール等が度々冠水していました。
- 平成26年10月の台風では、レールが冠水し列車が運休するなど常磐線のダイヤが乱れました。

【対策】

- このため、国・県・水戸市・JR東日本は浸水被害の軽減を図るため総合的な治水対策について検討し、対策を実施しました。
- ①県の対策：園内にバイパス水路を設置し、沢渡川に素早く排水する。
- ②JRの対策：レールを30cm上げ、冠水を軽減する。



【効果】

- 平成27年9月までに県がバイパス水路を整備した結果、平成27年関東・東北豪雨では、借楽園駅の線路敷きの冠水を未然に防止しました。
- 平成28年2月までにJR東日本が借楽園駅ホーム・レールのかさ上げを実施したことにより、JR常磐線の運行障害発生リスクが大幅に低減されました。

①【県】バイパス水路



②【JR】ホーム、レールかさ上げ



平成26年10月 台風18号



バイパス水路整備後

平成27年9月 関東・東北豪雨

